



第221号 令和4年(2022年)2月5日

市議会だより

■主な内容

12月定例議会の概要	2
各委員会での主な議案審査状況	2
議決一覧	9
一般質問	10
新型コロナウイルス第6波に備えた対応についての意見提出	14
議員研修会の概要	15
本会議・委員会などのインターネット中継	15



新型コロナウイルスワクチン追加接種

12月定例議会で可決した新型コロナウイルスワクチンに係る補正予算(P5参照)に基づき、市民の皆さまへの追加(3回目)接種が順次進められています。

市議会の詳しい情報は鈴鹿市議会のホームページをご覧ください

鈴鹿市議会

検索

<http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/>



12月定例議会の概要

新型コロナウイルス感染症対策をはじめとした 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第10号)など11議案を可決

12月定例議会を11月25日から12月22日までの28日間の期間で開催しました。まず、初日の11月25日には、「令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第10号)」など9件の議案が市長から提出され、提案説明が行われました。

12月3日には、提出議案に対する質疑を行い、3日、6日、7日、8日、9日には、23名の議員が一般質問を行いました。

9日には、議案9件を委員会に付託しました。また、市長から「令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第9号)」の議案が追加提出され、提案説明の後、質疑を行い、提出議案を予算決算委員会に付託し、議案の審査を行いました。その後、予算決算委員長から付託議案について審査結果の報告があり、1名の議員が討論を行った後、採決の結果、可決しました。

9日、13日、14日、17日には、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

最終日の22日には、各委員長から付託議案について審査結果の報告があり、1名の議員が討論を行った後、採決の結果、議案9件はいずれも可決しました。続いて、市長から「令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第11号)」の議案が追加提出され、提案説明の後、提出議案を予算決算委員会に付託し、議案の審査を行いました。その後、予算決算委員長から付託議案について審査結果の報告があり、採決の結果、可決しました。

最後に、2月20日までを休会とすることを決定し、散会しました。



各委員会での主な議案審査状況

総務委員会



12月14日

議案第72号 財産の処分について

旧神戸中学校の跡地を売却処分

(概要) 旧神戸中学校の跡地である鈴鹿市十宮四丁目88番1外1筆の合計1万8,909.23平方メートルについて、条件付き一般競争入札を実施した結果、株式会社ユタカ開発へ処分予定価格6億6,780万円で売却しようとするもの。

質疑 条件付き一般競争入札とのことであるが、どのような条件を付けたのか。

答弁 条件は、集会所の建設、一定期間における建築の制限および北側道路の設置である。一定期間における建築の制限は、旧神戸中学校の跡地の売り払いの実施要領において、建築基準法施行規則に定める「一戸建ての住宅」以外の用途である建築物を、契約日から5年間、建築してはならないというものである。



旧神戸中学校の跡地

予算決算委員会

予算の審査は、総務、文教環境、地域福祉、産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

総務分科会

議案第66号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第10号)



12月14日

すずか応援基金積立金を増額

〇すずか応援基金積立金 4,500万円

(概要) 令和3年9月末のすずか応援寄附金(ふるさと納税)が前年度同時期と比較して増加していることと、令和3年12月からふるさと納税の申し込み受け付けサイトを3社増設し4社(さとふる、楽天ふるさと納税、ふるなび、ANAふるさと納税)とすることから、寄附金の増額を見込み、積立金を増額するもの。

質疑 鈴鹿市民が他自治体へふるさと納税をすることで本市から出ていく金額はいくらか。

答弁 税額控除として金額を把握しており、平成28年度が約6,400万円、平成29年度が約1億2,300万円、平成30年度が約1億7,300万円、令和元年度が約2億4,100万円、令和2年度が約2億5,900万円である。



文教環境分科会

議案第66号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第10号)



12月13日

農業用井戸を修繕

〇施設跡地管理費/その他分 1,150万円

(概要) 国府町地内にある西之城戸農業用井戸において、井戸内のスクリーンが破損したことにより土砂が流入し、ポンプが故障したため、修繕を行うもの。

質疑 井戸内のスクリーンが破損した原因は何か。また、破損したスクリーンは何製だったのか。

答弁 井戸内のスクリーンが破損した原因は不明である。また、破損したスクリーンは鉄製で、設置からおおよそ10年が経過していた。



西之城戸農業用井戸

文化会館の非常用自家発電機を修繕

○文化会館／維持修繕費 550万円

（概要） 文化会館の非常用自家発電機の定期点検にて故障が判明したもので、消防法・建築基準法で設置が義務付けられている設備であり、停電時に消火設備などに電力を供給する必要があるため、早急に修繕工事を実施するもの。また、修繕が完了するまでの間、開館するために必要な代替発電機のレンタルに係る経費を計上するもの。

質疑 非常用自家発電機の定期点検はどのくらいの頻度で行っているのか。また、修繕後はどのくらいの期間、稼働できる見込みか。

答弁 定期点検は、委託業者が年2回行っており、稼働点検も行っている。また、電気保安業者による点検も3カ月に1回あり、そのうち1回は稼働点検を行っている。それ以外にも、文化振興課の職員が、月1回、目視の点検を行っている。
今後については、令和4年度から文化会館の大規模改修を予定しており、発電機もエンジン本体のオーバーホールを予定している。このため、具体的に何年とは言えないが、それ相応に稼働を続けられると考えている。



文化会館の非常用自家発電機

学校における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策

○感染症対策等の学校教育活動継続支援事業 560万円

（概要） 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、児童および生徒の学びの保障に必要となる保健衛生用品や教職員の研修に必要な書籍などを購入するもの。

質疑 保健衛生用品購入費および学校用備品購入費は、各学校の裁量で使用することができるのか。また、購入できる物品に制限はあるのか。

答弁 保健衛生用品および学校用備品は、各学校の校長の裁量で購入することになる。補正予算の可決後、各学校に聞き取りを行い必要なものを把握する。
また、購入する物品については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策という目的であれば、制限は設けられていない。



スポットクーラー



調理場卓上大型扇風機

地域福祉分科会



議案第66号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第10号)

12月9日 12月14日 12月22日

新型コロナウイルスワクチンの追加(3回目)接種を実施

○予防接種費／新型コロナウイルスワクチン接種費 4億1,142万7,000円

(概要) 新型コロナウイルスワクチンの2回目接種の完了後、原則8カ月を経過した方への3回目となる追加接種の実施に係る経費を計上するもの。

質疑

接種後の心筋炎、心膜炎などの副反応に関する情報や、妊娠を計画している方への接種に関する情報について、現在、国からはどのように情報が提供されているのか。また、3回目の接種に当たって、ファイザー社、モデルナ社のどちらのワクチンを接種するかを市民が選択することは可能か。

答弁

心筋炎、心膜炎などの副反応については、国からの説明会で情報提供があったほか、ファイザー社、モデルナ社のそれぞれのワクチンに関する説明書にも情報が記載されている。厚生労働省からは、妊娠中の方にも接種を推奨しているほか、妊娠を計画している方に接種をしても差し支えないとの説明を受けている。妊娠中の方や妊娠を計画している方は、受診している医師に相談の上、接種を受けるか否かを判断していただきたい。

また、3回目の接種に当たって、市民の皆さまの希望に応じて接種するワクチンの種類を選択していただけるように準備しており、市のホームページでもその旨を案内している。



65歳以上の方に向けた追加接種のお知らせ(厚生労働省)

新型コロナウイルスワクチンの追加接種体制を確保

○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費 3億2,028万9,000円

(概要) 新型コロナウイルスワクチンの3回目となる追加接種を行うため、ワクチン接種体制の確保に係る経費を計上するもの。

質疑

1回目、2回目の接種時と比較して、接種体制に変更点はあるのか。

答弁

1回目、2回目の接種時は、接種に係る予約の受け付けを毎週火曜日に実施していたため、電話による問い合わせが特定の時期に殺到していたが、3回目の接種に当たっては、一度に4週間分の予約を受け付けることで問い合わせなどが分散するように改めることを検討している。

議案第75号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第9号)
 議案第76号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第11号)

子育て世帯に臨時特別給付金を給付

○子育て世帯への臨時特別給付金給付費 30億8,200万円

(概要) 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が長期化する中、子育て世帯の生活を支援するため、18歳までの子ども一人につき10万円の給付金を一括給付するもの。

質疑 本市に転入された方や新生児などを対象とした給付はどのように行うのか。

答弁 本給付金は、9月分の児童手当を支給した自治体から給付されることとなっているため、10月以降に本市に転入された方には、本市からではなく、当該自治体から給付を受けていただくことになる。

新生児に関しては、令和4年3月31日までに生まれた児童のうち、児童手当の支給対象となっている児童が給付金の対象となっている。基本的に、出生届の提出時に児童手当の手続きを行っていただくため、その内容を基に申請不要のプッシュ型で給付することを検討している。

議案第76号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第11号)

住民税非課税世帯などに臨時特別給付金を給付

○住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付費 21億8,380万円

(概要) 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が長期化する中、さまざまな困難に直面した方々に対し、生活・暮らしへの支援として給付金を給付するもの。

質疑 給付対象者に対するプッシュ型の通知や給付金の給付はいつ頃行う予定か。家計が急変した世帯に対する給付に当たって、家計急変をどのように判断するのか。いつまでに本市に転入された方が、本市における給付対象者となるのか。

答弁 給付金の給付対象となる非課税世帯は約20,410世帯と見込んでおり、これらの世帯の方には給付金に関するプッシュ型の通知を2月上旬頃に郵送し、早ければ2月下旬に給付することを予定している。

家計が急変した世帯は約1,400世帯と見込んでおり、給付金の申請をする月の直前で、家計の急変を判断することとして、国からの制度概要が示されている。

本市に転入された非課税世帯の方の場合、12月10日の基準日に本市に住民票があった方が本市における給付金の給付対象となる。家計が急変した世帯の方の場合、申請時に居住する自治体で申請していただくことになる。

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	
■ 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり10万円の現金を給付する。	
給付額	1世帯当たり10万円
対象者	① 世帯全員の令和3年度分の住民税均等割が非課税である世帯 ※ 住民税が課税されている等の扶養親族等のみからなる世帯を除く。 ② ①のほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、①の世帯と同様の事情があると認められる世帯(家計急変世帯)。

厚生労働省ホームページでの案内

(注) 予算決算委員会地域福祉分科会の答弁内容は、各分科会開催時点における状況です。



すずか応援寄附金(ふるさと納税)の推進

〇すずか応援寄附金推進費 2,250万円

(概要) すずか応援寄附金(ふるさと納税)のサイト増設に伴い、PR・周知および返礼品の送付に係る経費を増額補正するもの。

質疑 魅力ある返礼品が重要になってくると思われるが、返礼品に関してサイト側からの提案はあったのか。

答弁 サイト側からの提案ではなく、調査・研究を通して複数サイトの運営による寄附金額の増額を図る。また、魅力ある商品の発信に当たっては、現在、他の施策での展開を図っている。今回のサイトの増設では、さとふるが、増設した他のサイトの商品配送や相談・クレーム対応などの業務も代表して担うため、利用者にとっての窓口の一本化、本市にとっての業務の効率化およびコストの削減につなげることができる。



国府工業団地内の歩道を整備

〇地方道路整備事業費／汲川原橋徳田線(庄野・国府区間) 2期 8億500万円

(概要) 多くの工場が立地し、通勤車両や大型物流車両が通行する国府工業団地内の交通混雑の解消および安全な通学路を確保するため、道路の4車線化と歩道整備を行うもの。

質疑 当該区域は平田野中学校の通学路となっているが、安全を確保するための歩道整備の内容はどのようなものか。

答弁 「鈴鹿市通学路交通安全プログラム」の中で平田野中学校の通学路として、危険箇所の指定を受けているため、自転車歩行者道の基準を満たした歩道として両側に3メートル幅で設置を進めている。今後、自治会や学校、警察などの関係機関と協議をして進めていく。



平田野中学校の通学路

第三セクター伊勢鉄道への支援

○第三セクター伊勢鉄道に対する支援負担金 399万4,000円

(概要) コロナ禍における外出自粛などの影響を受ける交通事業者に対する支援として三重県が実施する事業に、伊勢鉄道沿線などの県内15市町が負担金を支出するもの。

質疑 各市町の負担率はどのようになっているのか。

答弁 三重県が全体金額の50%である1,900万円を負担し、残りの1,900万円を15市町で負担する。沿線市である3市と沿線外市町である12市町では負担割合が異なり、沿線市の負担割合については、本市が10.51%、津市が8.31%、四日市市が6.18%となっている。



第三セクター伊勢鉄道

議案第76号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第11号)

あんしんみえリアなどの取得を推進

○あんしんみえリア等取得奨励事業費 5,004万2,000円

(概要) 三重県が実施するみえ安心おもてなし施設認証制度「あんしんみえリア」の認証取得を行った市内施設に対し、奨励金を給付し、併せて今後の緊急事態宣言下などの事態に備え、ワクチン・検査パッケージ制度の周知を行うとともに登録を行った施設に対し、奨励金を給付するもの。

質疑 あんしんみえリアおよびワクチン・検査パッケージについて、申請から認証までに要する期間はどれほどで、いつまでに認証を受けた施設が、本奨励金の対象となるのか。また、ワクチン・検査パッケージ制度の申請件数が予算額を超えた場合の対応は、どのように考えているのか。

答弁 申請から認証までに要する期間については、あんしんみえリアが3～4週間、ワクチン・検査パッケージが1週間である。本奨励金は、2月末までに認証を受けた施設を対象とするため、できるだけ早く申請していただくよう市のホームページなどで周知を行っていく。また、ワクチン・検査パッケージ制度の申請件数が予算枠を超えた場合でも、対応を検討する。



両制度の認証・登録を受けた店舗に貼られるステッカー

討論一覧（12月定例議会）

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。採決で賛否が分かれた場合のみ内容を掲載し、全会一致の場合は一覧を掲載します。（討論順）

<議案第66号～議案74号について>

氏名	賛成・反対の別	議案番号
中西 大輔 議員 (市民の声)	賛成	議案第66号～議案74号



<議案第75号について>

氏名	賛成・反対の別	議案番号
中西 大輔 議員 (市民の声)	賛成	議案第75号



議決一覧（12月定例議会）

12月定例議会に上程された議案は、全て全会一致で可決しました。

議案第66号	令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第10号)
議案第67号	鈴鹿市営土地改良事業分担金徴収条例の全部改正について
議案第68号	鈴鹿市手数料条例の一部改正について
議案第69号	鈴鹿市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案第70号	鈴鹿市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案第71号	鈴鹿市国民健康保険条例の一部改正について
議案第72号	財産の処分について
議案第73号	市道の認定について
議案第74号	市道の廃止について
議案第75号	令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第9号)
議案第76号	令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第11号)



起立採決の様子

一般質問(要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

れいめい 矢野 仁志 議員

洪水予報河川鈴鹿川について

(質問) 洪水予報河川に指定されている鈴鹿川について、バックウォーター対策などの安全管理について問う。また、異常気象に対する整備のための事業費は確保できているのか。

(答弁) 国は、適切にバックウォーター対策を実施し流下能力を確保するとともに、鈴鹿川水系河川整備計画を策定し洪水・高潮対策などを行っている。また、国土交通省などに対し、改修事業の推進や財源確保の要望活動を実施している。

その他の質問 ○和歌山市の水管橋崩落事故を受けた本市の対応 ○オンライン授業の課題



新緑風会 河尻 浩一 議員

教育と福祉に係る諸問題について

(質問) ①公教育・家庭教育・地域教育について、②教職員の働き方改革とサポートについて、それぞれどのように考えているのか。

(答弁) ①家庭教育は全ての教育の原点である。学校教育・家庭教育・地域教育はそれぞれに大切な役割があり、連携していくことが必要である。②教職員が心身共に健康的にやりがいを持って働くことができるように三重県教育委員会と連携を図りながら環境改善に取り組んでいく。



れいめい 池田 憲彦 議員

新型コロナウイルス感染症に対応した学校運営について

(質問) 新型コロナウイルス感染症に対応して、学習指導要領の目指す児童生徒の学びはどのように保障されているのか。

(答弁) 教育活動全般について、文部科学省の示しているマニュアルに基づき対応を図っている。緊急事態宣言解除後は、感染症対策を実施した上で可能な活動から段階的に実施する。長期欠席児童生徒には、希望すれば授業のオンライン配信を実施しており、現在21名が利用している。

その他の質問 ○選挙管理委員会



公明党 藤浪 清司 議員

子どもと障がい者の医療費負担軽減について

(質問) 子ども医療費現物給付の対象を未就学児から中学生までに拡大してはどうか。障がい者医療費助成の対象拡大と現物給付についても尋ねる。

(答弁) 子ども医療費現物給付の中学生までの対象拡大実施に向け、早期に課題を整理し準備を進める。障がい者医療費助成も、現物給付は子ども医療費と同様の制度設計を考えるが、助成の対象拡大は多額の経費を要することから、県へ補助対象拡充を要望していく。

その他の質問 ○指定管理者制度 ○窓口業務の改善



新緑風会 宮本 正一 議員

鈴鹿市のエネルギー施策について

(質問) 本市が検討している地域新電力会社が果たすべき役割と今後のエネルギー施策の方向性について問う。

(答弁) 2050年カーボンニュートラルを見据え、令和4年度に鈴鹿市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定し2030年の温室効果ガス排出量削減目標を設定する。地域新電力会社を設立し、将来的には電力の地産地消を推進するため、市内事業者と連携できる仕組みを構築したい。構造転換が必要な民間事業者へは国・県の動向を注視し支援を検討したい。

その他の質問 ○市立保育所の環境改善



市民の声 中西 大輔 議員

三中学校改修の現状について

(質問) 白子、千代崎、白鳥中学校の耐力度調査の結果と改修の方向性の説明を。地域に説明を行ったのか、今後の取り組みについて。

(答弁) 白子中学校と白鳥中学校は、長寿命化改修工事が可能。千代崎中学校は、構造躯体の鉄筋の腐食・膨張の改善が技術的・経済的に難しい。学校関係者や地域の方々への説明は行っておらず、調査結果および方針については、令和3年度中に学校運営協議会などの場を活用し、丁寧に説明していく予定。

その他の質問 ○主権者教育と若者の参画



コロナ禍の学校運営について

(質問) コロナ禍の学校運営において、オンライン授業および特別支援学級における課題と対応はどうなっているのか。また、給食と食育についての考え方はどうか。

(答弁) オンライン授業は子どもたちの学びを止めないという観点から実施し、分散登校を利用し学習プリントの配布や回収を行った。入力などについては個人差があった。特別支援学級では視覚として分かるように足跡マークの活用などの対応を行った。給食は感染症対策を徹底して実施し、食育を通して望ましい食習慣を身に付けていきたい。



Cバスについての28回目

(質問) 交通利便性向上のため、一ノ宮地区における実証実験の結果の検証、市民へのアンケートの実施、個人からの協賛金の募集などによりCバスの再編、見直しを検討してはどうか。

(答弁) 市民へのアンケートなどを行う。一ノ宮地区における実証実験の結果は、今後、地域主体の移動手段を導入する際の参考とする。個人からの支援は、他市の事例を研究する。海岸部への路線拡充を含むCバスの路線見直しは、路線全体を見直す中で検討を進める。

その他の質問 ○高岡水管橋についての2回目



農業政策について

(質問) ①本市の農業の状況は。②中山間部の基盤整備は可能か。③地産地消の取り組みは。④学校給食における地元農産物の活用は。

(答弁) ①農業者数は3,788戸で10年前と比較し1,275戸減少、農業産出額は約200億円で5年前と比較し約32億円増加。②地域や集落全体の十分な協議と合意が得られれば不可能ではない。③鈴鹿市地産地消推進計画に基づき、茶など鈴鹿産農林水産物のPR、食農教育、白ネギ栽培支援、アサリの放流などを実施している。④令和2年度は米は100%、中学校給食の野菜は重量ベースで41.1%が鈴鹿産である。



子どもの見守りについて

(質問) 登下校時や放課後に地域ボランティアの方々に子どもの見守りをいただいているが、年々高齢化・担い手不足が課題と聞く。既に15万人の子どもの見守りに活用されているICTシステムを導入し、担い手の確保と安心なまちづくりに活用してはどうか。

(答弁) ICT機器やインターネット環境を活用した児童生徒の見守りサービスについては、子どもたちの安全安心の確保の一助となり得るシステムであるため、期待できる効果や課題について、調査・研究を進めていく。



将来を担う子どもたちの届かない支援について

(質問) 学校で生きづらさを感じ、そのために学校に行けない児童生徒は令和2年度全国で19万6,127人で前年度比1万4,855人増の過去最多。学校での学習や集団活動に困難を抱え不登校になる例が多い。本市での不登校相談は令和2年12月時点で前年度比1.5倍。民間のフリースクールなどの施設への支援、財源をどう確保するのか。

(答弁) 民間のフリースクールなどへの文部科学省による支援措置はなく、本市教育委員会においても支援は行っていない。一方、全国の公益財団が、NPO法人などが行う事業に対して補助を行う場合がある。



障がい児を取り巻く環境について

(質問) 医療的ケア児およびその家族に対する支援に関する法律が令和3年9月に施行された。市は、日中一時支援事業での重度加算制度の創設の検討を進めるとあるが、現在は一日基本単価6,000円であり、国が設定しているおよそ1万3,000円への加算設定を早期実現に向けて取り組んでいるのか。

(答弁) 本市は、第6期鈴鹿市障害福祉計画に加算制度創設を明記している。国、県との連携を含めて早期実現に向けて取り組む。

その他の質問 ○コロナワクチン接種 ○総合計画2023の進捗



個人情報保護法の改正について

(質問) 法改正によって本市の個人情報保護制度はどうなるのか。また、市民の個人情報を匿名加工した情報を提供する予定はあるのか。

(答弁) 個人情報保護制度の所管は、国の個人情報保護委員会に一元化される。また行政機関等匿名加工情報の提供募集は、当面の間は都道府県および政令指定都市のみに義務付けられ、他の地方公共団体での実施は任意とされているため、本市における提供体制整備は予定していない。市の個人情報保護条例の改正は令和4

年9月定例議会を予定している。

その他の質問 ○市制80周年



市街化調整区域の維持について

(質問) ①市街化調整区域における住宅を建設する許可基準、②優良田園住宅の建設に係る制度について、どのように考えているのか。

(答弁) ①市街化調整区域の人口減により、地域コミュニティーの維持が課題。令和元年7月に鈴鹿商工会議所から市街化調整区域における土地利用の有効活用に関する請願書が提出され、市街化調整区域に住宅が建設できる制度の検討を進めた。②令和3年7月1日に優良田園住宅制度を活用した条例を制定し、ニーズ

に合わせた住宅建設が可能になった。

その他の質問 ○学校の安全対策



「生理の貧困」を無くすことについて

(質問) 生理の金銭的・精神的負担をなくすため小中学校全てのトイレに生理用品の設置を。タブーをなくし、生理の悩みなどを性別に関係なく共有、理解し合う教育に取り組み、ジェンダー平等の実現に向け生理の貧困をなくす取り組みを。

(答弁) トイレへの設置は、児童生徒の意見も取り入れ適切な方法での配布となるよう慎重に検討していく。また、保健室を気軽に訪れることができるよう努める。ジェンダー平等の実現を最重要課題とし公共施設窓口での生理用品無料配布を継続し、トイレ内への

ディスペンサー設置を段階的に増やす。



サッカースタジアム計画について

(質問) 鈴鹿青少年の森の木を切り倒しサッカースタジアムを造る計画は、2年前に市長がアンリミテッド社などと連名で「青少年の森敷地内が最適」と明記した公文書から始まり、令和3年6月に知事より都市公園施設の設置許可、8月に計画図を記者発表した。市長は公園利用者や市民に説明も公表もせず、意見を聴く機会も設けなかった。原点に戻り建設の動きを止め、市長が自ら説明し市民の声を聴くことを求める。

(答弁) これまで記者発表や議会での答弁で説明してきたので、改めて説明の場を設けることはしない。



開署予定の新消防分署について

(質問) 本市南部エリアの天名地区に建設予定の新消防分署について、開署時における人員配置および開署に伴う効果について問う。

(答弁) 新消防分署の開署に向けて、消防職員の計画的な採用を行い、増員を図り準備を進めている。新消防分署に配置する人員は、現在の人員配置を見直すことで、適切に対応していく。新消防分署が建設されることにより、本市南部エリアへの消防車両および救急車の現場到着時間が大幅に短縮されるため、消火活動

や応急処置の早期実施が可能となる。

その他の質問 ○環境問題対策



子どもの命を守る予防接種について

(質問) 子宮頸がんワクチンの定期接種について、新たに勧奨を再開するに当たり、今後の対応と機会を逃された方への考えを問う。

(答弁) 接種対象者へ予診票の個別送付を行うほか、分かりやすい通知内容を作成し、ワクチンの安全性や有効性などの情報発信を行い、接種希望者に寄り添った相談支援体制の構築に取り組む。令和3年度内に、現在の中学3年生の女子とその保護者に対し、個別通知による勧奨を実施する。接種機会を逃された方にも

機会を確保することが重要だと考える。

その他の質問 ○市営住宅



デジタル行政の推進に向けた取り組み

(質問) デジタル行政の推進に向けた本市の取り組みは。また、デジタル化を進める上で、市民に対しスマホ教室の開催やLINEを活用した情報発信も必要ではないか。

(答弁) 令和4年度末までに、子育て・介護関連の手続き、罹災証明書の申請手続きなどが可能になるよう取り組む。デジタル格差解消のため、市民向けのスマホ教室については事業者と協議を進める。さらにLINEの早期導入に向けて取り組む。

その他の質問 ○子育て世帯への臨時特別給付金 ○稲生民俗資料館



幼児教育の推進について

(質問) 幼児教育は、生涯にわたる人格形成や非認知能力の基礎を培う、極めて重要な役割を担うことから、国では、新たに5歳児教育プログラムを、幼保小架け橋プログラムとして令和4年度からスタートさせるとしている。本市でも積極的に取り組むべきである。

(答弁) 本市においても、幼保小架け橋プログラムを参考にしながら、小学校へスムーズにつながられるよう、子ども政策部と教育委員会が連携しながら、幼児教育充実のための取り組みをしっかりと推進していく。

その他の質問 ○外国人児童等の教育



迅速安全な消火活動に向けての取り組みについて

(質問) 火事災害時、迅速安全な消火活動には、①消防水利、②道路が狭隘な地域での消火活動が重要である。①、②の本市の現状と考え、そして今後の体制強化についてお聞きしたい。

(答弁) ①については、各地域の防火水槽など、常時の点検と計画的整備を実施している。②については、署内で情報を共有した上で、日々、技能講習など訓練を重ねている。本市としては、これから到達目標を設定した訓練からなるソフト面と、新消防分署の建設などハード面の強化に向けた取り組みをさらに行っていきたい。



鈴鹿市における随意契約について

(質問) 本市の運用方針は。また、津市のような不適切な分割発注への対応、透明性の確保は。

(答弁) 鈴鹿市における随意契約のガイドラインに沿って指導している。工事および工事に関する業務委託について請負工事等執行部会にて事前に内容などを審査している。契約内容の閲覧公表、鈴鹿市入札監視委員会での調査審議を行い随意契約の透明性を確保している。分割発注については新聞報道の翌日に全職員へ注意喚起した。

その他の質問 ○公共施設の設計におけるプロポーザル方式等の適切な導入
○鈴鹿市の自転車通行空間



排水機場の耐震調査と建替えについて

(質問) 耐震性のない現白子第3排水機場を白子中央雨水ポンプ場という名称で新たに用地を確保して建て替えることについて、法的手続きの進捗、用地取得の状況はどうなっているのか。

(答弁) 令和3年2月に都市計画決定の告示を行い、同年7月に県から事業認可の告示がなされた。建て替えに必要な土地は3筆、約2,300平方メートルで、地権者にパンフレットを配布し、事業区域内に看板を設置して事業内容を周知した。大切な財産をお譲りいただくため、権利者の意見を伺いながら、事業用地の確保を進めていく。



各委員会での主な議案審査状況、討論および一般質問の記事に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取っていただくと、動画をご覧いただけます。



新型コロナウイルス感染症「第6波」に備えた対応についての意見提出

新型コロナウイルス感染症「第5波」においては、感染力の強い「デルタ株」の出現以後、感染者数が急激に増大し、本市においても、令和3年8月だけで新規感染者数が1,000人を超え、入院できない自宅療養者が急増するなど、医療提供体制が逼迫するとともに、市内小中学校においては、分散登校やオンライン授業の実施など、大変大きな影響を受けました。



その後、いったんは、新規感染者数および自宅療養者数が減少したものの、さらに感染力の強い「オミクロン株」の出現など、新型コロナウイルス感染症が終息したとはいえ、感染拡大「第6波」に対し、次の点に配慮していただくよう、令和3年10月18日に正副議長と各会派代表者から市長に対し意見を手渡しました。

提出した意見は、市議会ホームページ「トピックス」に全文を掲載しています。ぜひご覧ください。



市議会から市長への意見内容

1

保健所から自宅療養を要請された方を対象とした生活支援の取組（食料品及び生活必需品の配付並びに買物支援など）について、三重県と連携して検討すること。

2

宿泊療養施設の確保について、三重県と連携してさらなる拡充に努めること。

3

感染爆発等により保健所の検査体制が整わずPCR検査対象外となった方（無症状の濃厚接触者や接触者など）への対応について、PCR・抗原検査キットの活用など市民の不安を解消する仕組みづくりを検討すること。

4

新型コロナウイルス感染症に関する市民の疑問や不安など様々な相談に対応するための体制を検討すること。

5

2回目のワクチン接種から概ね8か月以上を経過した方への3回目のワクチン接種（ブースター接種）について、高齢者等に配慮した予約しやすい仕組みを検討すること。

6

疾病等の理由によりワクチン接種をすることができない方やワクチン接種に対して慎重な判断を行っている方に対して、誹謗中傷、偏見や差別が行われないよう周知を図るとともに、PCR検査や陰性証明書に係る補助制度を検討すること。

7

小中学校のオンライン授業について、次の点に取り組むこと。

- ①9月に実施したオンライン授業を検証し、課題について早急に改善策を検討すること。
- ②オンライン授業に関する優良事例は、全学校で共有すること。
- ③今後にも備え、各学校においてパソコン等を点検するとともに、定期的にオンライン授業の研修を行うこと。

8

経済対策について、コロナ禍で影響を受けた業種等を調査するなど、安全・安心な経済活動につながる感染防止対策の推進を、三重県と連携して取り組むこと。

議員研修会を開催

令和3年11月15日、議場において、「令和3年度鈴鹿市議会議員研修会」を開催しました。今年度のテーマは「社会保障制度（国民健康保険）について」と題し、講師に津市立三重短期大学生生活科学科の長友薫輝教授（社会保障論・地域医療論・地域福祉論専攻）をお招きしました。社会保障制度をはじめ、地域包括ケアシステム、地域医療構想、コロナ禍における地域医療などについてもご説明をいただき、社会保障の機能と役割について理解を深めることができました。



本会議や委員会などのインターネット中継を開始

現在、本市議会では、本会議の様子をケーブルテレビ（CNS・112ch）で生放送しています。このたび、本市議会が目指す「開かれた議会」の実現の一環として、議会活動をより身近に感じていただくために、ケーブルテレビ未加入者や市外の方でも視聴していただけるよう、インターネット（YouTube）を活用した、本会議や委員会などの中継を開始します。ぜひご覧ください。

(注)スマートフォンなどによる視聴は、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信業者から高額な料金を請求される場合がありますので特にご注意ください。

本会議

2月定例議会（初日2月21日）からインターネット（YouTube）ライブ中継を開始する予定です。

委員会など

12月定例議会中に開催した4つの常任委員会（予算決算委員会各分科会を含む）からインターネット（YouTube）録画中継を開始しています。

総務委員会（分科会）



文教環境委員会（分科会）



地域福祉委員会（分科会）



産業建設委員会（分科会）



総務委員会の様子（YouTube）

市議会だより「議会報告特別号」のお知らせ

本年度の議会報告会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会場での開催を取りやめ、令和4年2月20日に委員会ごとの報告を掲載した市議会だより「議会報告特別号」を発行します。

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

議会にお越しください

本会議や委員会などの傍聴をするときは、市役所本館14階の議会事務局で傍聴券を受け取ってから入室してください。本会議の傍聴受け付けは先着順です。本会議以外の傍聴受け付けは、開会30分前から開始し、同10分前に締め切ります(締め切り時点で傍聴希望者が定員を超える場合は、抽選により決定します。)

なお、会議の開催予定は、市議会ホームページや市役所掲示板などでお知らせします。



本会議場：定員53名



委員会室：定員10名

音声を聞き取りにくい方に

議場傍聴席にて音声を聞き取りにくい方には、ヘッドフォンを貸し出しますので議会事務局へお申し付けください。



また、手話通訳と要約筆記をご希望の方は、事前にお申し付けください。



議会に来られなくても…

●CNS(ケーブルテレビ)で生放送

本会議をデジタル112chで生放送しています。放送時間は午前10時(開会時間)から会議の終了までです。

●本会議の録画映像を配信

テレビ中継した本会議の映像をおおむね2週間後に市議会ホームページで録画配信しています。

●委員会などの録画映像を配信(YouTube)

委員会などの映像をYouTubeで録画配信しています。市議会ホームページからご覧いただけます。

●会議録でもっと詳しく

会議の詳しい内容については、市役所本館14階の議会図書室と4階の行政資料コーナーで閲覧できます。

なお、本会議の会議録は、市立図書館や各地区市民センターなどでも閲覧できます。

また、市議会ホームページで会議録を公開しています。

※12月定例議会の会議録は、2月下旬に配置予定です。

皆さまのご意見などをお聴かせください

市議会や市議会だよりに対する皆さまのご意見・ご提案・ご要望をお聴かせください。今後の参考にさせていただきます。

宛先は

鈴鹿市議会事務局

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号
TEL:059-382-7600 FAX:059-382-4876
mail:giji@city.suzuka.lg.jp

新型コロナウイルス感染症対策のためご協力ください

- ・議場および委員会室の傍聴入り口などに設置してある消毒液をご利用ください。
- ・咳や発熱などで体調の優れない方は傍聴をお控えください。



2・3月の会議日程

(注)日程は変更される場合があります。

月	日	曜日	時間	内容
2月	8日	火	10:00	全員協議会
	14日	月	10:00	議会運営委員会
	21日	月	10:00	本会議(提案説明)
	22日	火	14:00	議会運営委員会
3月	2日	水	10:00	本会議(代表質問)
	3日	木	10:00	本会議(質疑、一般質問)
	4日	金	10:00	本会議(一般質問)
	8日	火	10:00	本会議(一般質問)
	9日	水	10:00	本会議(一般質問)
				議会運営委員会(本会議終了後)
				各派代表者会議(議会運営委員会終了後)
	10日	木	10:00	本会議(一般質問、追加議案等、委員会付託)
	11日	金	10:00	予算決算委員会(本会議終了後)
文教環境委員会(分科会)				
産業建設委員会(分科会)				
3月	14日	月	10:00	総務委員会(分科会)
	15日	火	10:00	地域福祉委員会(分科会)
				文教環境委員会(分科会)※ 産業建設委員会(分科会)※
	16日	水	10:00	総務委員会(分科会)※ 地域福祉委員会(分科会)※
				常任委員会予備日※
	22日	火	10:00	予算決算委員会 各派代表者会議(予算決算委員会終了後)
				広報広聴会議(各派代表者会議終了後)
	23日	水	13:00	議会運営委員会
24日	木	10:00	本会議(委員長報告、討論、採決)	
			全員協議会(本会議終了後) 議会だより編集会議(全員協議会終了後)	

※常任委員会の進行状況により、開催しない場合があります。